

令和6年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

西方寺認定こども園

1、本園の教育・保育目標

生きぬく力の礎を育てる：心の力、体の力、学ぶ力を育む

「心の力」：様々な園内行事の中で経験を積む事で、頑張る事や我慢する心を養い立ち向かってくる壁を自力で乗り越えられる強い心の基礎を作る。

また、大自然の中で積極的に遊ぶ事で、子供たち同士のふれあいや助け合い、菜園での体験等「食育」を通して「生かされている命」に自ら気づいていく事で「感謝する心」を育てる。

「体の力」：「横峯式保育」の一環である柔軟体操を通し、十分に体を動かす事により健康丈夫な体が作られ、正しい生活リズムを身に付ける。

「学ぶ力」：自分で調べたり、自分でやってみること（失敗と成功の中）で経験値が高まり、自ら考え、判断し、行動実践する「自学自習」ができる。

子どもを育てるための一つとして、読み書き、計算に取り組み「学ぶ力」を身に付ける。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育及び保育の目標、主な内容

「いろいろな子どもとかかわる中で違いを感じながら、自分や友達を受入れ主体的に活動する子ども」を目指し、2歳児（3号認定子ども）～3歳児（2号認定子ども）への滑らかな接続を考慮した保育を行う中で、一人一人の気持ちの安定や経験を積み重ね子どもが自己選択自己決定し、自分らしく生活や活動を進められる子どもを目指したい。
家庭や地域、関連機関と積極的に連携や協力をを行い、積極的な子育て支援活動の取組を継続、推進する共に、特別支援教育の充実、幼児一人一人の特性に応じた指導の充実につなげたい。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・一時預かりを行い、急遽教育・保育が必要となった子どもや、保護者への支援ができた。・地域の子育て世帯、在園児の保護者に向けて子育て支援を行っている。・今年度は、50周年記念としてこどもまつりを行い、園児、保護者、卒園児や地域の方々にも参加いただき、喜んでいただいた。
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・Web研修だけでなく外部での研修にも積極的に参加し、園内研修を通じて、学んだ研修内容を共有し、実践することで、質の向上を図った。・PDCAサイクルを回すことで、単にやりっぱなしの教育・保育ではなく、常に子ども達にとってより良い保育になるように、努めている。

4、認定こども園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育所から認定こども園に移行し、8年が経ち、保護者、職員共に協力しながら、子どもたちへのよりよい保育、教育ができていると感じる。

令和6年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

西方寺認定こども園

平成29年度から処遇改善Ⅱによる、職員の資質向上に向けたキャリアアップ研修の1分野以上の受講率は100%、2分野以上の受講率はまだ100%には満たない。オンラインでの研修受講等も増えてきているため、積極的に参加させ、2分野以上取得率100%を目指し、更に複数分野受講するよう促し、さらなる資質向上を目指していく。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
横峯式保育の理解と認識	・横峯式保育を取り入れてから、10年以上になるが、未だ体操を行うこども園、スバルタという誤ったイメージがある。本来の、子どもの主体性を尊重し、自ら進んで意欲的に活動する日々の姿を、保育参観や保護者保育体験を通じて広めていく。また、体操だけでなく、学ぶ力や心の力の教育に重点を置き教育・保育活動を行っている点も同様の方法で広めていきたい。さらに、ネイティブによる英語教室を行っているが、知らない方が多いため、SNS等を利用し、周知していきたい。
保護者・外部への情報提供	「ホームページ内容への充実」「外部への情報公開」という点で、SNSやホームページにより園の様子を更新している。LINEを活用し、保護者への連絡や情報提供も必要に応じて、電子化しつつある。保護者・外部への情報提供において満足していただけるよう職員への教育・報告体制の確認を行い、保護者とのコミュニケーションの図り方を向上していけるよう取り組みたい。

6、学校関係者の評価

育友会役員の方々に、子どもたちの発達や安全な環境を確保するために、園での運営に関する複数項目について評価をいただいた。その他「今後とも地域に開かれたこども園であってほしい」「園での取り組みなどがまとめられていてわかりやすい」「園児のことを1番に考えてくれている」などの評価をいただいた。今後とも、園児だけでなく、保護者の方々、地域の方々と共によりよい園づくりをしていきたい。

7、外部者の評価

今年度から、保育の更なる質の向上を目的とし、公開保育を実施した。全国の教育・保育の専門家であるアンバサダーに加え、同中学校区の小中学校の校長先生、市役所こども子育て課課長にもきていただき、当園の教育・保育を見ていただいた。乳児保育から積み上げられる教育の姿が3.4.5歳児へ連続していることはとても重要であり、この50年間で乳幼児教育が結実して一つの教育方針を邁進していることは立派とのお言葉をいただいた。また、幼児期の教育の重要性だけでなく、個別最適化の教育の重要性もお話しいただき、今後の保育に結び付けられるよう、職員一同取り組んでいきたい。

8、財務状況

毎月、税理士の監査を受け、また毎年、公認会計士の監査を受けており、適正に運営されていると認められている。

令和 6 年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

西方寺認定こども園